



東広島市立原小学校 第1学年 学級通信 No.18 令和5年11月13日

11月1日 道徳参観日

11月1日は「道徳参観日」でした。1年生は「ときどきどっきんぐ」という教材から、心臓の音、心臓の動きに着目し、自分たちの「生きている」を感じる授業を行いました。

なんとなく感じていた心臓の音を本物の聴診器で聞いてみると…。音が聞こえた時のみんなの表情はびっくりした子もいれば、なんだか笑ってしまう子も。自分の心臓の音なんてなかなか聞くことがないので、心臓の音を聞いてみた感想を聞いてみると、

- ・ドキドキしていた。
- ・ドクドクというように聞こえた。
- ・思っていたよりも速かった。
- ・ゆっくりドクンドクンと聞こえた。 という意見が出ました。



改めて自分の心音を聞くことで、「自分って生きてるんだ。」とつぶやいている子もいました。生きているからできていることが当たり前ですが、「生きているから笑っている」「生きているから美味しく食べられる」「命があるから友達と楽しく遊べる」と、授業後に伝えました。

聴診器の数に限りがある中で、他のお友達が心臓の音を聞いている時には、静かに待ってあげる1年生にとっても優しさを感じました。自分に関わる人達と優しく関わりながら、「㊦生き生き」と「㊦びのび」と「㊦力いっぱい」1日1日を大切に過ごしてもらいたいと思います。

生きているということ
いま生きているということ
泣けるということ
笑えるということ
怒れるということ
自由ということ

生きる
谷川俊太郎

